



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 松本油脂製菓株式会社  
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtvs.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長 (氏名) 山田 正幸  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	24,746	3.4	4,231	29.1	4,786	△3.4	3,271	4.8
27年3月期第3四半期	23,938	5.1	3,276	6.8	4,957	16.8	3,120	17.3

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 3,227百万円 (△27.2%) 27年3月期第3四半期 4,435百万円 (24.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	925.56	—
27年3月期第3四半期	850.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	54,169	44,872	82.6
27年3月期	56,551	45,987	81.0

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 44,731百万円 27年3月期 45,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	250.00	250.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				300.00	300.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,100	3.0	4,800	3.0	5,200	△19.7	3,400	△14.9	926.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	4,512,651 株	27年3月期	4,512,651 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,245,401 株	27年3月期	845,014 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	3,534,144 株	27年3月期3Q	3,667,972 株

(注) 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として、普通株式2.5株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き円安、株価高であり、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、原油安による石油系原材料価格の低減の反面、円安による非石油系原料の高騰、及び原発稼働制限によるエネルギーコストの上昇が国内産業の生産に影響を及ぼしており、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、イスラム国の出現による新たな脅威の台頭や、シリアやウクライナなどの終わりの見えない紛争、そしてサウジアラビアとイランの国交断絶、中国経済の減速に伴う金融市場の混乱など、世界情勢、世界経済における状況は一段と厳しさを増してきております。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、生産拠点の海外移転が更に拡大しており、また国内大手顧客の不採算製品の生産中止、中小顧客の廃業などもあり、依然として厳しい状況が続いております。一方、海外の繊維産業におきましては、好調な米国経済に対しドイツを除いて欧州の不振が続いており、また、中国の実体経済が徐々に明らかになるなど、景気減速が日本だけではなく各国経済に影響を与えようとしております。

非繊維分野におきましては、国内では自動車関連及び住宅関連製品は景気回復基調に反して低調に推移しました。一方、海外における自動車関連では、米国は拡大しておりますが最大の市場である中国で縮小傾向となっております。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格製品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した製品の早期開発に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高24,746百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益4,231百万円（前年同四半期比29.1%増）、経常利益4,786百万円（前年同四半期比3.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,271百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 日本

日本における当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は24,185百万円（前年同四半期比3.5%増）、セグメント利益（営業利益）は4,145百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社が縮小傾向の中、昨年度安定した販売が見られた不織布関連用途が減少傾向であるものの、他の分野では安定した販売が続いております。海外向けでは、主として中国合繊メーカー各社への拡販により販売数量が伸び、外部顧客に対する売上高は2,613百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷と繊維製品の低価格化によりテキスタイル分野の加工量が減少しましたが、産業資材分野におきましては順調な販売となりました。また、非繊維工業分野では洗浄剤原料及びトイレタリー分野で販売が増加しました。海外では自動車関連及び住宅関連向けの工業用繊維分野、高機能繊維分野において販売数量を伸ばしました。その結果、外部顧客に対する売上高は14,502百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維工業関連加工剤の販売は加工量の減少が続きましたが、新規開発に努め、ほぼ昨年度並みの販売実績となりました。非繊維工業分野では原材料価格値上げに伴う製品価格の是正に努め、新製品への洗浄剤原料販売の拡大もあり、外部顧客に対する売上高は816百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、織布向け製織用スパン糊剤の販売がデニム関連分野の好調に支えられ順調に推移しました。フィラメント糊剤も新たな分野への展開が進み順調な売上となりました。非繊維関連では、設備投資関連資材の販売が増加し、化粧品原料は堅調に推移しております。建築関連、自動車関連でも新用途向けの拡販が進んでおります。その結果、外部顧客に対する売上高は6,253百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

## ② インドネシア

インドネシアにおける当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は560百万円（前年同四半期比2.1%減）、セグメント利益（営業利益）は63百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。インドネシア国内の消費低迷による繊維生産量の減少の影響により、販売数量が減少しました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、染色仕上分野で新規精練剤の販売数量が前年を上回りましたが、フィラメント織物用平滑剤の販売数量が減少しました。合繊用紡糸、撚糸油剤の開拓は合繊メーカーの生産調整により進展はありませんでした。その結果、外部顧客に対する売上高は274百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、フィラメント織物分野全体の加工量が減少し、また撚糸物の販売比率が依然として高く、糊剤の使用量が減少しております。同業他社との競合により販売単価も低下しました。また、インドネシア国内の景気低迷により自動車、オートバイの新車販売台数が減少し、タイヤの需要も減少したため、タイヤ離型剤の販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は276百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量に大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高はそれぞれ5百万円（前年同四半期比37.1%増）及び5百万円（前年同四半期比26.3%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比2,381百万円（4.2%）減少して、54,169百万円となりました。流動資産は前期末比1,080百万円（2.5%）減少の41,491百万円、固定資産は前期末比1,301百万円（9.3%）減少の12,678百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が838百万円増加したものの、現金及び預金が2,097百万円前期末より減少したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、投資有価証券が1,534百万円前期末より減少したことによるものであります。

### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比1,267百万円（12.0%）減少の9,296百万円となりました。流動負債は、前期末比1,077百万円（11.6%）減少の8,215百万円、固定負債は前期末比189百万円（14.9%）減少の1,081百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、その他が226百万円増加したものの、未払法人税等が1,259百万円前期末より減少したことによるものであります。

固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が105百万円前期末より減少したことによるものであります。

### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比1,114百万円（2.4%）減少して44,872百万円となりました。

純資産減少の主な要因は、利益剰余金が2,354百万円増加したものの、自己株式が3,403百万円前期末より増加したことによるものであります。この結果自己資本比率は、前期末の81.0%から82.6%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高が当初予想を若干下回る状況で推移しました。利益面につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がともに当初予想を上回る状況で推移しております。しかしながら通期の業績予想につきましては、今後の経済状況、為替の動向等が依然として不透明なことから、平成27年5月15日に公表いたしました予想数値を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,308	21,210
受取手形及び売掛金	9,067	9,905
有価証券	6,385	6,474
商品及び製品	1,981	2,025
仕掛品	415	443
原材料及び貯蔵品	1,095	1,256
繰延税金資産	200	51
その他	118	125
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	42,572	41,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,698	6,754
減価償却累計額	△4,599	△4,723
建物及び構築物（純額）	2,099	2,030
機械装置及び運搬具	10,356	10,861
減価償却累計額	△9,331	△9,543
機械装置及び運搬具（純額）	1,025	1,318
土地	533	530
建設仮勘定	239	212
その他	1,508	1,463
減価償却累計額	△1,396	△1,347
その他（純額）	111	115
有形固定資産合計	4,010	4,208
無形固定資産		
その他	13	20
無形固定資産合計	13	20
投資その他の資産		
投資有価証券	9,174	7,640
その他	784	816
貸倒引当金	△4	△7
投資その他の資産合計	9,955	8,448
固定資産合計	13,979	12,678
資産合計	56,551	54,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,397	6,477
未払法人税等	1,542	282
賞与引当金	269	145
その他	1,084	1,310
流動負債合計	9,293	8,215
固定負債		
退職給付に係る負債	199	94
資産除去債務	102	103
繰延税金負債	867	805
その他	100	77
固定負債合計	1,270	1,081
負債合計	10,564	9,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	34,794	37,148
自己株式	△3,603	△7,007
株主資本合計	43,798	42,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,129	2,126
為替換算調整勘定	△77	△136
退職給付に係る調整累計額	△19	△7
その他の包括利益累計額合計	2,032	1,982
非支配株主持分	156	141
純資産合計	45,987	44,872
負債純資産合計	56,551	54,169



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	23,938	24,746
売上原価	17,671	17,461
売上総利益	6,267	7,285
販売費及び一般管理費	2,990	3,053
営業利益	3,276	4,231
営業外収益		
受取利息	91	139
受取配当金	64	73
持分法による投資利益	99	99
為替差益	1,395	161
投資事業組合運用益	6	0
その他	34	93
営業外収益合計	1,693	567
営業外費用		
支払利息	3	0
支払手数料	-	7
その他	9	5
営業外費用合計	13	13
経常利益	4,957	4,786
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	32	-
投資有価証券償還益	-	14
特別利益合計	32	14
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	4,989	4,799
法人税、住民税及び事業税	1,725	1,416
法人税等調整額	145	81
法人税等合計	1,871	1,497
四半期純利益	3,117	3,301
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,120	3,271

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	3,117	3,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,122	△2
為替換算調整勘定	208	△70
退職給付に係る調整額	△3	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△13
その他の包括利益合計	1,318	△74
四半期包括利益	4,435	3,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,336	3,159
非支配株主に係る四半期包括利益	99	67

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

当社は、平成27年8月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づく自己株式の取得及び具体的な取得方法として、自己株式の公開買付けを行うことを決議し、平成27年10月6日付で400,000株を自己株式として取得し、それに伴い自己株式が3,400百万円増加しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が7,007百万円となっています。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	23,365	572	23,938
セグメント間の内部売上高 又は振替高	266	35	302
計	23,632	608	24,240
セグメント利益	3,319	53	3,373

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,373
セグメント間取引消去	△50
のれん償却額	△36
棚卸資産の調整額	△9
四半期連結損益計算書の営業利益	3,276

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

平成26年7月31日付で、連結子会社である株式会社マツモトユシ・インドネシアの株式を追加取得したことにより、36百万円のものれんが発生しております。なお、当該のれんについては、販売費及び一般管理費において「のれん償却額」として一括償却しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	24,185	560	24,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	279	49	329
計	24,464	610	25,075
セグメント利益	4,145	63	4,209

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,209
セグメント間取引消去	31
棚卸資産の調整額	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	4,231

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。